



高度な医療で愛し愛される病院

理念の実行方法

- 地域住民地域医療機関と密着した医療
- 連携組織による24時間救急体制の実施
- 何人も平等に医療を受けられる病院
- 医療人としての自覚と技術向上のための教育
- 最新鋭医療機械導入による高度な医療
- 予防医学の推進に向けた健診業務

上尾中央総合病院
院長 徳永 英吉



がん相談室のご案内

がん相談室では、患者さんやご家族からのがんに関する疑問や不安、悩みなどのご相談を、看護師や相談員をはじめとするスタッフが、一緒に考え、連携をとりながら問題解決の手助けを行います。お気軽にご相談下さい。

ご利用方法

【受付時間】

- *月～金曜日 午前9時～午後5時まで
- *土曜日 午前9時～12時まで（日祭日を除く）

【相談方法】

- *面談は、原則として予約制となります。
- *各外来・病棟看護師に声をかけていただくか、直接がん相談室において下さい。

お問い合わせ

【連絡先】 上尾中央総合病院 代表 048-773-1111

【場 所】 G館4階 がん相談室

たとえば・・・

- がんと言われて、これからが不安ばかり・・・。
- 治療や手術にかかる費用が心配で・・・
- 自宅での生活や日常の過ごし方について。
- 使える医療・福祉・介護の制度やサービスは？
- 家族として何かできることはありますか？
- ホスピス、緩和ケアって？家で介護をするには？

などの、不安や疑問。



医療法人社団 愛友会

上尾中央総合病院

TEL.048-773-1111(代)

〒362-8588

埼玉県上尾市柏座1丁目10番10号

<http://www.ach.or.jp/>



編集 後記

いつもアウングルをご覧いただきありがとうございます。

当院は、本年12月で、「50周年」となります。今後も「愛し愛される病院」理念の基、愛し愛される広報誌を目指してまいりますので、宜しくお願い申し上げます。

編集長 平田一雄

■発行:上尾中央総合病院 ■発行人:徳永 英吉
■編集者:平田 一雄 ■編集:広報部会
■内容に関するお問い合わせは 総務課広報係まで

文書番号 QIJH005



アウングル

上尾中央総合病院 広報誌

～愛し愛される病院を目指して～

VOL.30

平成25年2月発行



平成25年 年頭挨拶



院長 徳永 英吉

皆様、明けましておめでとうございます。

謹んで、新年のご挨拶を申し上げます。

さて、当院は1964年12月1日に開設され、昨年49周年目を迎えております。創立50周年の記念事業とし

て新しい建物を建築中でございますが、騒音のみならず工事車両の出入りなどで、近隣の皆様方には大変ご迷惑をお掛けしております。この場をお借りして、お詫びを申し上げますとともに、もうしばらくのご協力をお願い申し上げます。新しい建物が完成した際には、最新鋭の機器導入をはじめ、アメニティの拡充を含めた、地域の基幹病院としての役割を存分に果たしていく所存であります。

当院は、地域の皆様の病院であり、最先端の医療を遠方に求めなくとも、すぐ近くの当院で受けることができるよう、再生医療などの準備を進めて参りましたが、今年から提供できる見通しとなっています。

また、昨年ノーベル賞受賞で国民的な話題となりましたiPS細胞の近い将来実現されるであろう臨床応用に向け、当院もその準備を始めるべく、研究施設を併設していきます。

それに先立ち先端医療としてすでに複数の大学で実施されている、特殊なガン治療にも今年から着手していける手はずが整いました。

高度な医療を継続的に提供すべく、今年も職員一同がんばるつもりですので、皆様方のご支援を何卒よろしくお願い致します。

今こそ正しく
理解したい！

？ ？ 塩分とは ？ ？

管理栄養士 武政 葉子



近年、メディアでは度々塩分に関する話題が取り上げられ、「減塩」や「節塩」を謳った商品が次々と発売されています。今こそ塩分について正しく理解し、適切な塩分摂取に努めましょう。

塩分は善者か悪者か？

塩は塩化ナトリウム（NaCl）を主成分としています。食物として摂取された塩は、ナトリウムと塩素になって体内に吸収されます。

その後ナトリウムは、体内水分の調整、筋肉の収縮、神経の刺激伝達などに働きます。また塩素には、消化に必要な胃液成分・塩酸を作るという大切な役割があります。しかし一方で、摂りすぎると高血圧・心疾患・腎疾患・胃がん・骨粗しょう症等の遠因になるとされています。（※但し、塩分摂取による血圧上昇の程度（食塩感受性）には個人差があります。）**塩分は善者と悪者の両面を持っています。過剰も不足も無い適切な塩分摂取を続けることが大切です。**

塩分は
体に悪いの？



一般成人の食塩目標摂取量

（日本人の食事摂取基準2010年度版より）

男性：9g/日未満

女性：7.5g/日未満

※本来の必要量は1.5g/日程度ですが、達成困難な為目標摂取量が設定されています。

※高血圧・糖尿病・心臓病・腎臓病等が有る方は、個別で主治医に相談が必要です。

●栄養成分表示と塩分●

食品（特に加工品）にナトリウム及び食塩相当量が表示される事が増えてきました。食塩相当量が記載されていればイコール塩分と捉える事が出来ますが、ナトリウム記載だけの場合は注意しなければなりません。

食塩相当量 (g) = ナトリウム (mg) × 2.54 ÷ 1000

で食塩相当量に換算する必要があります。

右の例だと、1製品に食塩相当量で5.08gの塩分が含まれる事になります。

エネルギー	346kcal
タンパク質	7.0g
脂質	14.0g
炭水化物	48.1g
ナトリウム	2.0g
〔めん・かやく〕	0.7g
〔スープ〕	1.3g
ビタミンB1	0.33mg
ビタミンB2	0.58mg
カルシウム	232mg



熱中症予防に塩分補給は必須か？

夏は発汗等により塩分（ナトリウム）やカリウムなどのミネラルもいくらか失われます。しかし、元々日本人（成人）の食塩摂取量は1日平均約10gと多く、必要量である1日1.5gを上回っています。その為、極端な高温下や激しい運動による多量の発汗時や下痢嘔吐時を除き、**食事が通常通り摂取出来れば塩分補給は一般的に不要**です。ただし、水分は十分に摂取するようにしましょう。（水分制限のある方を除く。）



当院は、管理栄養士による栄養指導(糖尿病・腎臓病・心臓病等)を実施しております。
塩分その他、食事に関する指導をご希望の方は、主治医までお申し出ください。



地域医療連携の推進にご協力いただいている先生方

「地域医療連携とは？」

地域医療連携とは、地域の医療機関が自らの施設の設備や地域の医療状況に応じて、診療内容・医療機関の分担や専門化を進め、各医療機関が相互に円滑な連携を図り、専門的機能を最大限有効に提供することを目的としています。当院は、地域の医療機関との連携を推進しており、様々な医療機関と連携することで、より質の高い医療を効果的に地域の皆様に提供することが可能になると考えております。この医療連携にご協力いただいている医療機関をご紹介します。

桶川西口クリニック

標榜科：内科、外科、小児科

住所：桶川市若宮1-4-52 埼北SSビル2階

TEL：048-789-5777

当クリニックは桶川駅西口すぐ前にあり、桶川マインの南側にあります。私は北海道に15年おり、消化器外科勤務、僻地医療、米国の短期留学などをしていましたが、上尾中央総合病院内科勤務を経て平成14年10月に当地に開業しました。北海道の僻地の診療所勤務の経験を生かし、生活習慣病や消化器疾患、小児プライマリケアを中心に診療しています。北海道に比べてサラリーマンや母子家庭の方が多く、患者の仕事の都合や経済事情も考慮して診察するように心掛けています。精査や入院加療の必要場合は上尾中央総合病院などと連携して検査治療を行います。

皆様へ テレビ、新聞などの健康情報に間違ったものもあります。
健康上のことで気になることがありましたら気軽にご相談ください。

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	●	●	●	●	●	●	
15:00~18:30	●	●		●	●		



院長 李 宇



幹クリニック

標榜科：内科、放射線科、麻酔科、緩和ケア

住所：上尾市西門前104

TEL：048-774-4877

■資格
日本放射線学会専門医・日本放射線腫瘍学会
認定医・日本がん治療認定医機構認定医、
指導医・日本核医学PET認定医・
日本緩和学会PEACE指導医・麻酔科標榜医

こんにちは、北上尾駅東口より徒歩8分にある幹クリニックです（芝川小学校近隣）。
開設は平成23年10月1日でまだ1年経ったばかりの、ヨチヨチ歩きをしているクリニックです。

地域医療に微力ながら携わりたいと考えており、一般内科を中心に風邪から成人病、腰痛・痛みのpain clinic、緩和医療まで幅広く診察をしています。

又、在宅医療も積極的に行っており、足が悪くて来院できない方や状態が悪く（がん患者さん等）来院できない方など、自宅に往診を行っていますので気軽にご相談ください。

皆様へ 私達スタッフ一同、一人一人患者さんに優しく満足していただける医療を目指しています。

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	●	●		●	●	●	
16:00~19:00	●	●		●	●		



院長 本戸 幹人



土曜日は9:00~14:00